

KENWOOD

チューンアップサブウーファー

KSC-680DW

取扱説明書

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION

©PRINTED IN CHINA B61-1169-10 (J) (FHP) 385307

お買いあげいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■安全上のご注意

ここに示す事からは、安全に関する重要なものです。必ず守ってください。
絵表示は次の意味を表しています。



してはいけないことを表しています。
(禁止マーク)



しなければならないことを表しています。
(指示マーク)

警告

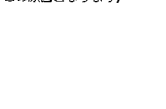
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

取扱説明書に従って作業を 取り付け、配線は製品の取扱説明書または取扱説明書の指定通りに行ってください。 《従わないと、急ブレーキ時などにはずれて人がつかつたり、また感電、火災などのおそれがあります》 よく読んでね	作業時は、バッテリーの配線をはずす 取り付け、配線などを行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。 (ショート事故*が起こり、火災の原因となります) マイナスをはずす	ヒューズは規定のものを ヒューズが切れたときは、配線したコードがショート*していないことを確認後、必ずヒューズボックスに表示された規定容量(アンペア数)のものと交換してください。 《規定以外のものを使うと、火災の原因となります》 表示を確かめて!! ●ヒューズ交換は、車の取扱説明書を参照してください。	重要保安部品には接続しない アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。 《事故などの原因となります》
保護用テープを巻く 車両の金属部近くを通るコードには保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。 《コードが傷つくと、感電やショート事故*による火災などのおそれがあります》	取り付け後、車の点検を 製品の取り付けが終了したら、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。 (配線ミスなどで車の機能が損われていると、交通事故の原因となります)	ビニール袋はかたづけ 製品の包装に使われているビニール袋は、子供や幼児がかかぶってあそんだりしないよう、手の届かない所にたたづけてください。 《窒息の危険があります。》	12V以外の電源では使用しない 電源は12V マイナスアース専用です。これ以外では使用しないでください。 (火災の原因となります) ●電源は車の取扱説明書で確認できます。
設置は安全な場所に 取り付けに際しましては、前方の視界を妨げない場所や、車の運転の邪魔にならない場所、急停車等の場合に、同乗者に危険を与えないような場所に取り付けてください。 《けが、事故の原因となります》	コード接続は正しく スピーカコードはスピーカの入力コードへ直接配線してください。車のボディーに直接ねじ止めをしたり、スピーカコードの白側を共通にして配線すると破損・火災の原因となります。 《破損、火災の原因となります》	タンクや電気配線を傷つけない 車体に穴を開けて取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などを絶対に傷つけないようにしてください。 (火災の原因となります)	電源の被覆を切った配線はしない 電源コードの被覆を途中で切って他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。 (ショート事故*が起こり、火災の原因となります)
取り付けには専用の付属品を 製品の取り付けの際には、必ず付属の取付用吸盤をご使用ください。取付不備により、運転中に製品が外れて人に当たるなど、けがの原因となります。	異常かな? ……すぐ使用中止 次のような異常が起きた場合、すぐに使用を中止してください。 ●音がでない ●水がかかった ●煙が出る ●変な音や匂いがする ●金属や紙などの異物が入った 《そのまま使用を続けると火災、その他の事故の原因となります》 電源スイッチを切り、安全を確かめてから、販売店、ケンウッドサービスセンター、営業所へご相談ください。	指定以外のコードは使わない 取扱説明書などに指定されたもの以外のコードは使用しないでください。 《発熱し、火災などの原因となることがあります》 ●指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	裏ぶた、カバーを開けない 改造しない 《火災その他の事故の原因となります》 ●点検・修理は、販売店、ケンウッドサービスセンターまたは営業所へご相談ください。 ●お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

*ショート、ショート事故…電気のプラスとマイナスが直接つながってしまうことを言います。むき出しになったコード(電気配線)が他のコードや、車両金属部に接触した時等に起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災につながります。

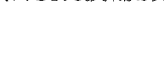
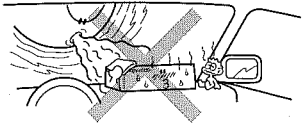
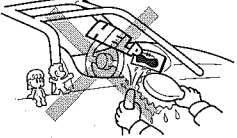
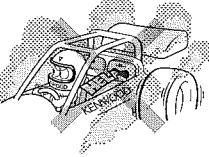
警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

オーディオの操作は、停車させてから カーオーディオの操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。 《運転しながら行くと、気をとられて交通事故の原因となります》 	大音量は禁止 走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。 《周りのできごとに気づかず、交通事故の原因となります》 	異常な音を出し続けない スピーカーを長時間、音がわねたり至んだ状態で使わないでください。 《発熱し、火災の原因となることがあります》 	異物を入れない 製品には放熱のための通風口が多く開いていますが、そこにゴミやドライバーなどの工具をむやみに入れないでください。 《ショート事故*が起こり、感電や火災などの原因となります》 
---	--	---	--

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

コードを引っ張らない コネクターを外すときは、リード線を引っ張らずにコネクター本体をもってロックを外してください。 《リード線の断線や、接触不良の原因となります》 	車以外には使わない 製品は車に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。 《取り付け不備などにより、落下してけがをするおそれがあります》 	発熱部には手を触れない アンプ付きスピーカーには、アンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は、高温になります。使用中は、スイッチなどの操作部以外には手をふれないでください。 《やけどをするおそれがあります》 	通風口をふさがない 製品の通風口や放熱器をふさがないでください。 《内部が高温になり、火災の原因となることがあります》 
直射日光はさける 直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所はさけてください。 	水をかけない 雨が吹き込むところや、水がかかるところ、湿気の多い所はさけてください。 	ほこりをさける ほこりがかかるところや、振動の多い場所、不安定な場所はさけてください。 	

*ショート、ショート事故…電気のプラスとマイナスが直接つながってしまうことを言います。むき出しになったコード(電気配線)が他のコードや、車両金属部に接触した時等に起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災につながります。

取り付け上の注意

- 取り付け、配線などの作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードをはずしてください。但し、車によっては、バッテリーを外すと機能の一部(ラジオのプリセットなど)が失われますのでご了承ください。
- 事故防止のため、運転の邪魔にならないラゲッジルーム荷室または、シート下などに、必ず固定してください。
- 取り付けが終わったら、バッテリーにケーブルを接続する前に、もう一度取り付けや配線を確認してください。
- ヒューズが切れた場合は、各コードがショートしていないことを確認後、切れたヒューズと同じ容量のヒューズに交換してください。交換してもすぐ切れる場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

使用上の注意

- エンジンをつめた状態で使用しますと、バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- このサブウーファーを、大出力のアンプと組み合わせてご使用になる場合、トーンコントロールや、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎたり、またグラフィックイコライザーの低音域を上げ過ぎたりすると、サブウーファーに過大な負荷が加わり、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光に当てたまま放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、エアコンを作動させるか、窓をあけて車を走らせ、車内の温度を下げてからご使用ください。
- スピーカー、リモコンが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

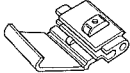
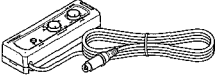
安全運転のために

- 運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行なうようにして安全運転を心がけてください。
- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。周りへの配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

必要工具

プラスドライバー、プライヤーあるいはペンチ、電動ドリル、カッターナイフ、ビニールテープ

■ 付属部品

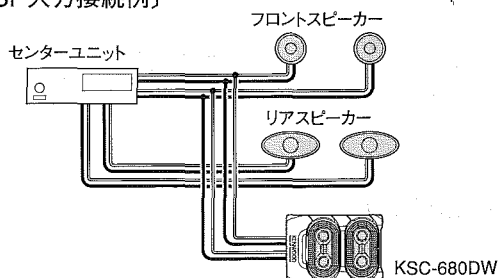
No.	部 品 名	外 形	数量	No.	部 品 名	外 形	数量
①	ブラケット A		4	⑥	10Pコネクタ付コード (6m)		1
②	ブラケット B		2	⑦	エレクトロタップ		7
③	クッション		2	⑧	マジックテープ (両面テープ付) (リモコン用)		1
④	小ねじ (M4×6)		8	⑨	リモコン (6m)		1
⑤	タッピングねじ (φ5×16)		8				

接続のしかた

カーステレオをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。

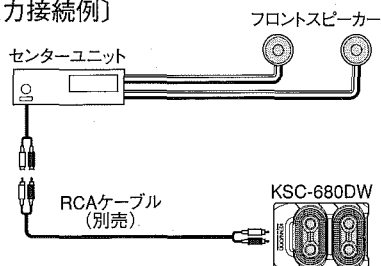
■ 使用例 (接続システム例)

1. アンプ内蔵センターユニットとの組み合わせ [SP入力接続例]



* フロント出力、またはリア出力に接続します。

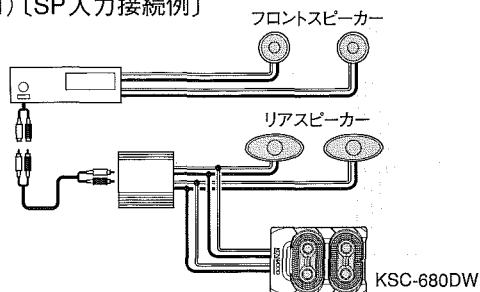
2. ノンフェーダー(サブウーファー出力)付のセンターユニットとの組み合わせ [RCA入力接続例]



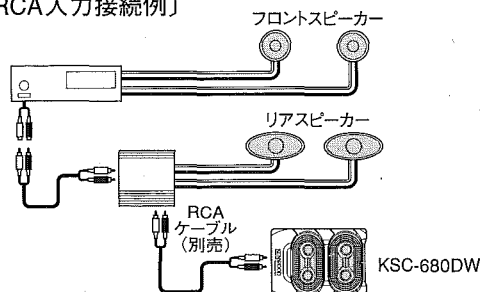
* ノンフェーダー出力、またはフロント出力に接続します。

3. 外部パワーアンプとの組み合わせ

(1) [SP入力接続例]



(2) [RCA入力接続例]



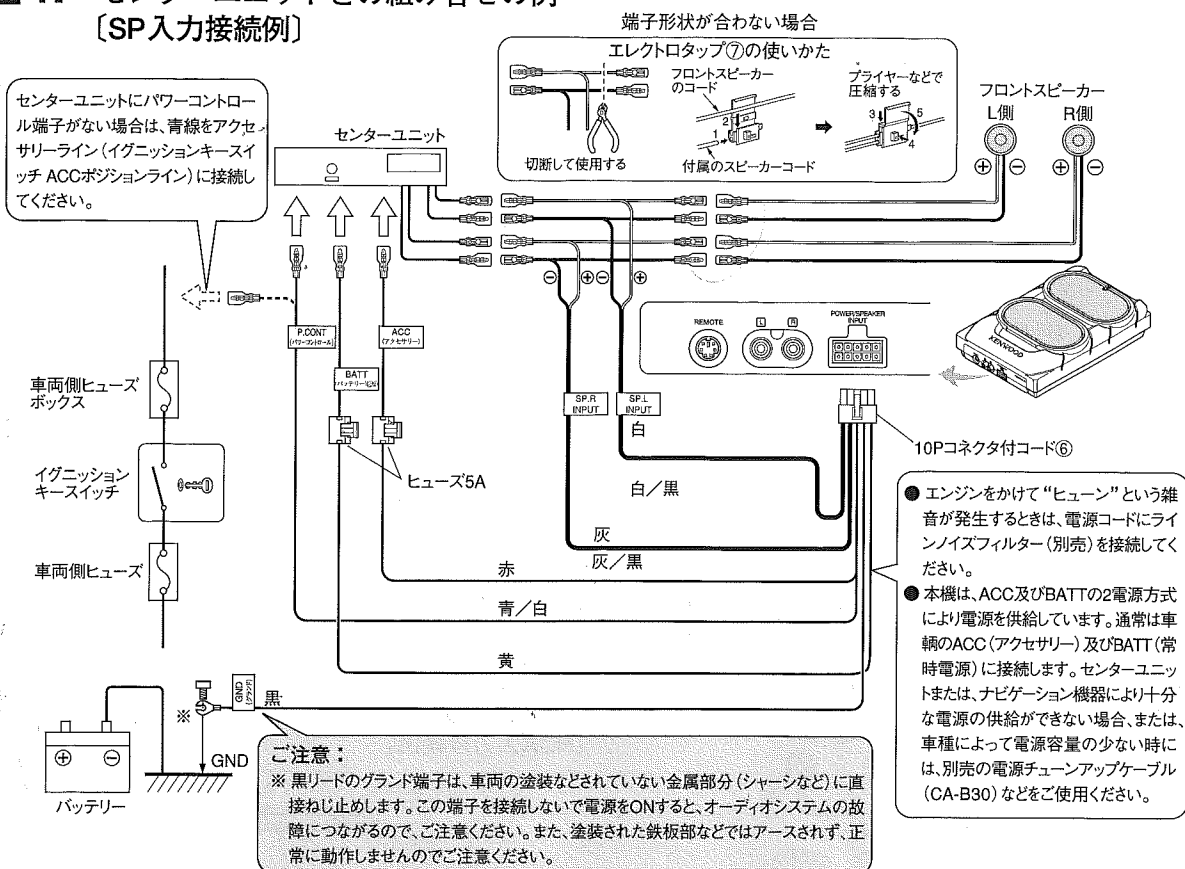
* パワーアンプにRCAアウトが付いている場合のみ

■ 接続時の注意

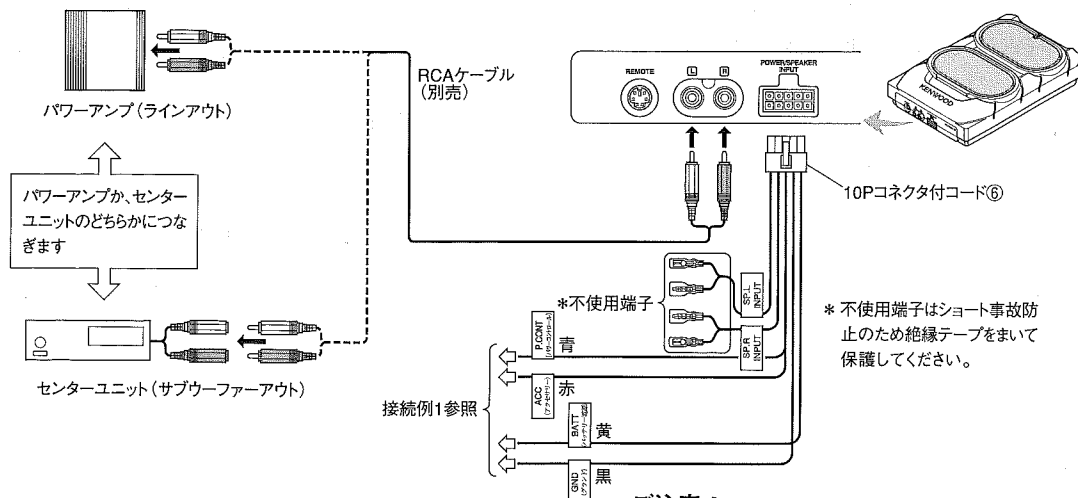
- センターユニットやパワーアンプなどと接続する場合には、この「取扱説明書」だけでなく、接続される機器に付属している「取扱説明書」も併せてご参照ください。
- 「DSP」付センターユニットは、ノンフェーダー(サブウーファー出力)、またはフロント出力に接続してください。リア出力に接続すると「DSP」効果と低域本来の効果が減少するおそれがあります。
- 本製品にはRCAケーブルは付属しておりません。RCAケーブルを使用した接続をする場合には、別売のRCAケーブルをご用意ください。

接続例

■ 1. センターユニットとの組み合わせの例 〔SP入力接続例〕

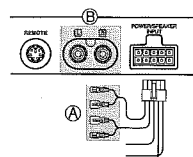


■ 2. 外部パワーアンプまたはセンターユニットとの組み合わせ 〔RCA（別売）入力接続例〕



すべての配線が終了後、もう1度正しいかチェックして下さい。そのチェックが終わったあととバッテリーのマイナスケーブルを接続して下さい。

ご注意：
④と⑤の入力端子（の部分）を同時に接続しないで下さい。アンプや、スピーカーの故障につながります。



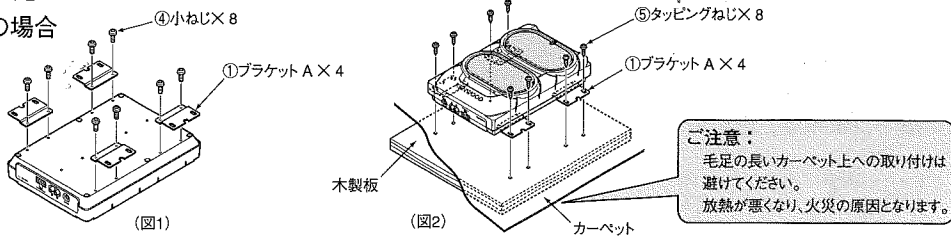
取り付けかた

スピーカーを固定する前に、音の確認を行います。

スピーカーの置き場所・向きをかえたりして、よりよい音質・音場になる様にします。

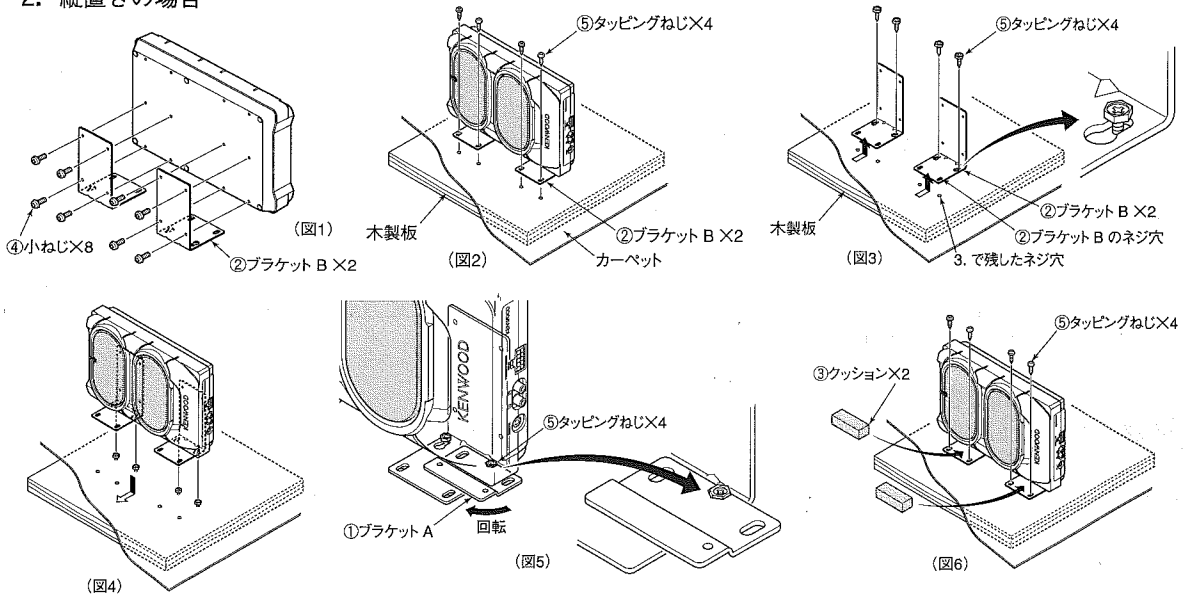
■ 固定のしかた

1. 横置きの場合



1. ①ブラケットAをスピーカー本体に④小ねじを使用してしっかり取り付けます。(図1)
2. 厚さ20mm以上の大きめの木製板を用意して、車のカーペットの下におきます。(図2)
3. ⑤タッピングねじを使用して、カーペットの上から①ブラケットAを木製板にしっかり取り付けます。(図2)

2. 縦置きの場合

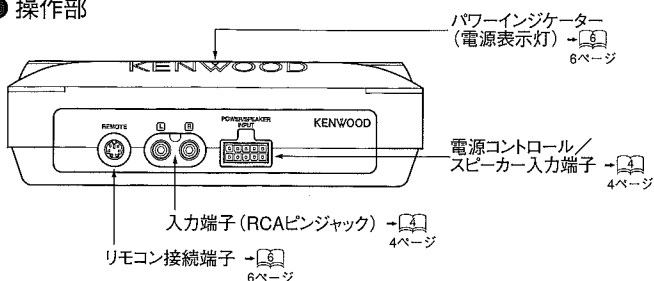


1. ②ブラケットBを④小ねじを使用してスピーカー本体に仮止めします。(図1)
2. 厚さ20mm以上の大きめの木製板を用意して、車のカーペットの下におきます。(図2)
3. ⑤タッピングねじを使用して、カーペットの上から②ブラケットBを木製板に仮止めし、ネジ穴を残して取り外します。(図2)
4. ④小ねじを外して、スピーカー本体を②ブラケットBから取り除き、3. で残したネジ穴に②ブラケットBのネジ穴を合わせて、⑤タッピングねじで仮止めします。ブラケットBを矢印の向きにスライドさせ、②ブラケットBを取り外します。(図3)
5. 再び④小ねじでスピーカー本体を②ブラケットBにしっかり固定し木製板に仮止めされた⑤タッピングねじの頭と②ブラケットBのネジ穴を合わせて、スピーカー本体を矢印の向きにスライドさせ木製板に仮止めします。(図4)
6. スピーカー本体と②ブラケットBの間に①ブラケットAを差し入れ、⑤タッピングねじを木製板に①ブラケットAの切欠き部を⑤タッピングねじの頭に合わせ、回転させながら本締めします。(図5)
7. 再び⑤タッピングねじで②ブラケットBを木製板に本締めし、③クッションをスピーカー本体と②ブラケットBの間に挿入して固定します。(図6)
8. 最後にスピーカー本体を軽くゆずってみて、ガタつかないことを確認します。

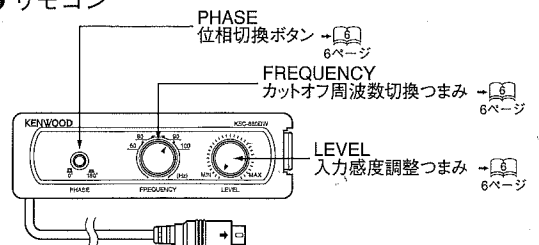
操 作

■ 各部のなまえ

● 操作部

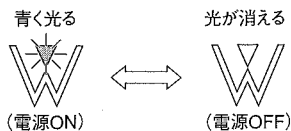


● リモコン



操 作

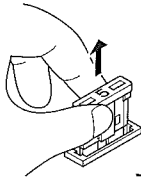
■ パワーインジケータ (電源表示灯)



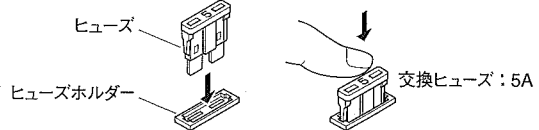
■ ヒューズ交換の仕方

指定容量のヒューズを交換します。

抜き方：指でつまんで、上に引っぺがります。



差し込み方：ヒューズをヒューズホルダーに軽く入れて、指で完全に押し込みます。

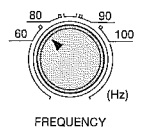


ご注意：

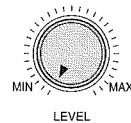
必ずヒューズに表示された容量（アンペア数）のものと交換してください。本製品は5Aです。

■ リモコンの基本操作

1. FREQUENCYつまみを切り換えて、ターンオーバー周波数（カットオフ周波数）を決めます。
リアスピーカーから出ている低音と、本機の低音のバランスがよい位置に設定します。



2. LEVELつまみをまわして、低音レベルを調節します。好みの音量に調節します。



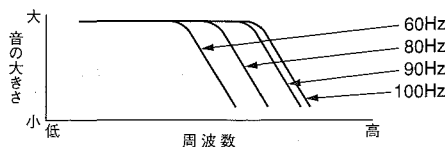
3. 低音の位相を変えてみる

サブウーファースの置き場所と、カットオフ周波数の関係で、低音の聴こえ方がPHASE切換によって変わることがあります。切り換えて低音がよく聴こえる方に設定します。

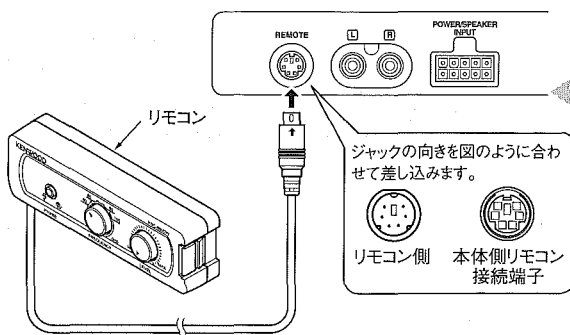


● ターンオーバー周波数

高域をカットする周波数が設定できます。



● リモコンの接続



ご注意：

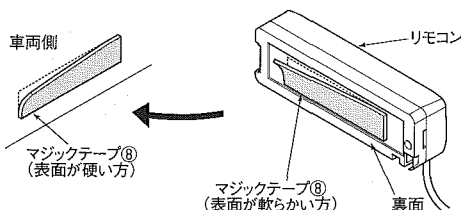
ジャックの向きを間違えて無理に差し込むと故障につながります。

万一、リモコンを紛失してしまったり、修理をご依頼の際に、リモコンがなくても本体から音は出ますが、本来の性能が発揮できなくなり、各操作もできなくなります。

接続は電源を切った状態で行ってください。

● リモコンの設置

付属のマジックテープ⑧を使って車両側に取り付けます。



ご注意：

運転の邪魔にならない場所に設置してください。

直射日光が当たる場所やヒーターの熱風が直接当たる場所は避けてください。

貼る場所の汚れをよく落してから貼ってください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障とおもわれることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない (パワーインジケータ ーが点灯しない)	●ヒューズが切れている。	●電源コードの(+) (－)接続確認とコード類がショートして いない事を確認後、指定容量のヒューズと交換してください。 ●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。
	●10Pコネクタ付コードの電源用端子(黄色)アクセサリ端 子(赤色)が接続されていない。	●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。
	●10Pコネクタ付コードのパワーコントロール用端子(青色) が接続されていない。	●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの(－)側ケ ブルを接続してください。
	●10Pコネクタ付コードのコネクタの差し込み不完全。	●端子を奥まで確実に差し込んでください。
	●10Pコネクタ付コードのGND(グランド)用端子(黒色)が接 続されていない。	●GND(グランド)用端子を車両の金属部(塗装面は不可)に確 実にネジ止めしてください。
音が出ない	●車のバッテリーの(－)側ケーブルが外れている。	●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの(－)側ケ ブルを接続してください。
	●センターユニットのアッテネーターがONになってる。	●アッテネーターをOFFにしてください。
	●LEVEL(入力感度)のつまみがMIN(最小)になっている。	●音量を適度上げてください。
	●スピーカーコードが間違えて接続されている。	●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。
音質が悪い (音が歪む)	●接続端子の接続不良。	●端子を奥まで確実に差し込んでください。
各操作ができない	●LEVEL(入力感度)のつまみがMAX(最大)になっている。	●適正音量で使用してください。
音が不自然	●リモコンのコードが抜けている。	●コードをリモコン接続端子に接続してください。
	●スピーカーコードの(+) (－)接続が合っていない。	●接続例(⇒P4)を見て正しく接続してください。
	●10Pコネクタ付コードのGND(グランド)用端子(黒色)の接 触不良。	●GND(グランド)用端子を車両の金属部(塗装面は不可)に確 実にネジ止めしてください。
	●フロントスピーカー又はリアスピーカーとのバランスが取 れていない。	●位相切換ボタンを0° または180°に切り換えて音質のバラ ンスを取ってください。

定 格

ご注意：

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更することがあります。

形式		KSC-680DW
[アンプ部]	最大出力	200W
	周波数特性 (システム)	35～100Hz
	S/N比	85dB
	カットオフ周波数切換	60Hz, 80Hz, 90Hz, 100Hz(4段階の切換式)
	フェイズ切換	0°, 180°
	定格入力レベル /入力インピーダンス	RCAピンジャック 40mV / 10kΩ
	スピーカー入力	900mV / 1kΩ
	電源	DC14.4V(動作範囲10.5～16V)
	最大消費電流	10A
	ヒューズ容量	5A×2
[キャビネット部]	方式	パッシブラジエータ型
	材質/仕上	アルミダイカスト/塗装
[スピーカー部]	ウーファー	160mm×80mm シルバーオーバルコーン
	パッシブ	160mm×80mm ブラックオーバルコーン
外形寸法		(幅)210×(高さ)61×(奥行)300mm
本体質量		3.4kg

保証書とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社では、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低6年保有しています。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所へお問い合わせください。

（お問い合わせは、添付の“ケンウッド全国サービス網一覧表”をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

7ページの“故障かな？と思ったら”に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービス・センターへお問い合わせください。

保証期間内でも安全上の注意事項を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス・センター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます。）

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

便利メモ

お買い上げ店名

☎ () -

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター （東京）電話(03)3477-2801

（大阪）電話(06)6394-8085

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22